

# サーバーワークス、AI中心の開発を一貫支援する「AI駆動開発伴走支援サービス」の提供を開始

アマゾン ウェブ サービス（以下：AWS）の AWS プレミアティア サービスパートナーである株式会社サーバーワークス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：大石 良、以下：サーバーワークス）は、開発プロセスのAI化から組織定着までを一貫支援する「AI駆動開発伴走支援サービス」の提供を開始することをお知らせします。



## ■「AI駆動開発」とは

AI駆動開発とは、AIを単なるコード作成の補助ツールとして扱うのではなく、要件定義・設計・実装・テストに至る全ライフサイクルにAIを組み込み、開発プロセスそのものをAI中心に再構築する手法です。人間が「仕様定義」と「レビュー」に注力し、実作業をAIが実行することで、抜本的な生産性向上を実現します。

## ■サービス提供の背景

近年、AIツールの利用拡大に伴い「AIで個人の作業は早くなったが、チーム全体の生産性が上がらない」「未承認のAIツール利用によるソースコード流出リスクがある」といった課題が顕在化しています。

サーバーワークスは自社におけるAI駆動開発の実践ノウハウと、エンタープライズ企業へのAWS導入支援の知見を活かし、属人化しがちなAI活用を「組織の標準ワークフロー」へと引き上げる本サービスの提供に至りました。

## ■「AI駆動開発伴走支援サービス」の概要

AWSが提唱する「AI-DLC（AI-Driven Development Life Cycle）」などのフレームワークや最新のAI開発ツールを用い、以下の3ステップでセキュアかつ持続可能な開発体制の構築を支援します。

- **開発プロセスへのAI組み込み**

要件定義からテストまで、各工程にAIツールを組み込んだ開発フローを設計し、ドキュメントやコードの自動生成を実現します。

- **組織全体へのAI定着**

ハンズオン支援とワークフロー整備を実施し、チーム全員が共通ルールで日常的にAIを使いこなす体制を構築します。

- **継続的な改善・最適化**

定期的な活用状況のレビューを行い、形骸化を防ぎながら組織全体の生産性を持続的に向上させます。

## ■今後の展望

サーバーワークスは本サービスの展開により、エンジニアの役割を「コードの記述」から「AIの指揮・設計」へとアップデートする支援を強化します。IT人材不足が深刻化する中、エンジニアが単純作業から解放され、より上流のビジネス価値の創造に注力できる環境を提供することで、次世代の開発スタイルの定着と生産性向上に貢献してまいります。

▼本サービスで活用する具体的なAIツールや導入ステップの詳細は、以下のサービスページをご覧ください。

<https://www.serverworks.co.jp/service/ai-solution/aidd.html>

## ■株式会社サーバーワークスについて

サーバーワークスは、「クラウドで、世界を、もっと、はたらきやすく」をビジョンに掲げ、2008年よりクラウドの導入から最適化までを支援しているAWS専門のクラウドインテグレーターです。

2026年5月末現在、1,570社、31,700プロジェクトを超えるAWS導入実績を誇っており、2014年11月よりAWSパートナーネットワーク（APN）最上位の「AWS プレミアティアサービスパートナー」に継続して認定されています。

移行や運用、デジタルワークスペース、コンタクトセンターなど多岐にわたって認定を取得し、AWS事業を継続的に拡大させています。

取得認定、実績についての詳細はこちらをご覧ください：<https://partners.amazonaws.com/jp/partners/001E000000NaBHziAN/>

＊本リリースに記載された会社名、サービス名等は該当する各社の登録商標です。

＊本リリースの情報は発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

---

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000178.000075977.html>

株式会社サーバーワークスのプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/75977](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/75977)

---

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社サーバーワークス

社長室 広報

担当：鈴木、田上

TEL：03-5579-8029

E-mail：pr@serverworks.co.jp